

公共交通地区別座談会 富崎地区

開催結果報告書

平成30年11月20日
館山市企画課

【もくじ】

0.公共交通地区別座談会の実施目的	3ページ
1.公共交通地区別座談会（富崎地区）実施概要	4ページ
2.富崎地区の特徴など	5ページ
2-1.富崎地区の位置（GIS地図から）	6ページ
3.館山市の公共交通の現状に関する説明	7ページ
4.路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度の説明	7ページ
5.グループワーク	8ページ
5-1.富崎地区 Aグループで出された意見	10ページ
5-2.富崎地区 Bグループで出された意見	12ページ

0.公共交通地区別座談会の実施目的

- ◆今年度及び2019年度（平成31年度）の2年をかけて策定する「館山市地域公共交通網形成計画」に、地域住民の生の声やニーズを収集し、分析を行う
- ◆分析結果については、計画内容になるべく具体的に反映させるとともに、当該地域における移動手段の必要性や確保策などについて検討するための資料とする
- ◆移動手段の必要性や確保策の検討結果を踏まえ、その導入や維持について検討していく

1.公共交通地区別座談会（富崎地区）実施概要

【日時】

- ◆2018年（平成30年）11月6日（火曜日）午後3時から午後4時30分

【会場】

- ◆富崎地区公民館

【参加者数】

- ◆富崎地区住民等22名（女性6名、男性16名）

【内容】

- ◆館山市の公共交通の現状について、資料を用い説明（市企画課職員）
- ◆路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け割引制度説明（ジェイアールバス関東社員）
- ◆グループワーク
 - 参加者をA・Bの2グループに分割し、それぞれに市企画課職員を配置
 - 下記のテーマについて、参加者が意見を出し合い、それを付箋に記入し可視化・移動について困っていることや課題だと思えることはいくつかありますか？また、課題や困っていることを解決するため、住民の皆さんでできることはありますか？
 - ※ファシリテーションは各グループの市職員が担当
 - ※平成29年度の開催した座談会で出された意見を踏まえ、意見出しを行った
 - 最後に、市職員が各グループで出た意見等を発表

2.富崎地区の特徴など

【地区の生い立ち、特徴】

- ◆館山市最南部に位置し、布良と相浜の2つの集落からなる
- ◆漁業が盛んで、マグロ延縄漁の基地として発展し、最盛期には映画館や銀行等も存在した

【商店分布・交通の状況】

- ◆スーパーが1軒（おどや大神宮店：神戸地区）が存在する
- ◆ジェイアールバス関東の路線バス（館山駅～安房白浜）が地区内を通過する
- ◆狭いエリアに住宅が密集しているほか、地区内の道路は狭く、坂道もあるためお年寄りのバス停へのアクセスにやや難がある

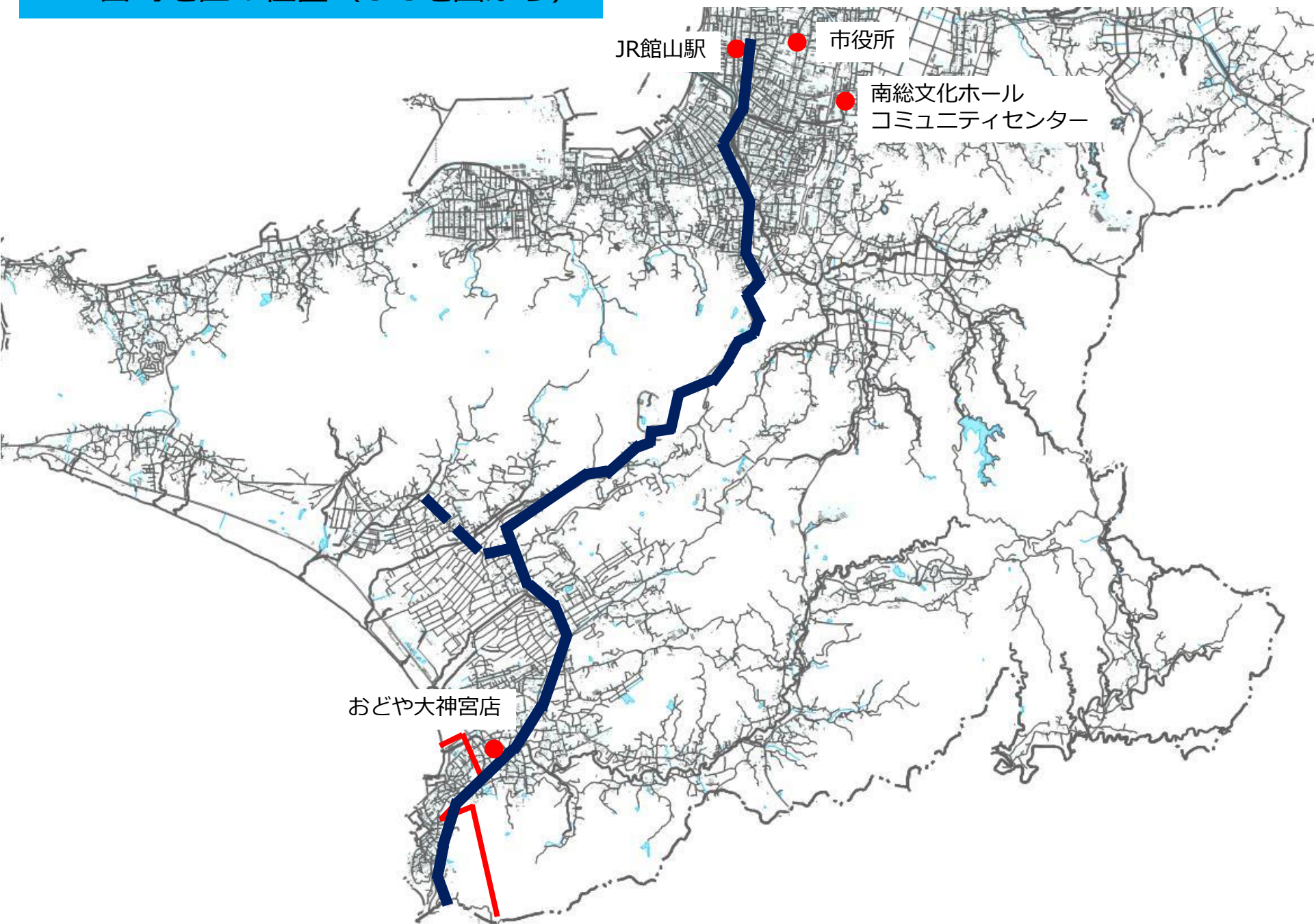
【人口の状況等】

- ◆4月1日現在、地区人口809人（平成20年度比72.5%）
高齢化率60.0%（平成20年度高齢化率46.1%）
集落別高齢化率：布良56.5%、相浜63.5%
市内で最も高齢化が進み、かつ平成20年度比の人口減少幅も大きい

※住民基本台帳人口を基にした館山市統計データを参照

2-1.富崎地区の位置 (GIS地図から)

青線：館山駅からのバス路線



3.館山市の公共交通の現状に関する説明

【説明内容】

- ◆鉄道・路線バス・タクシーとも、利用者が減少傾向であること
- ◆加えて、バス・タクシー業界では担い手不足や高齢化が課題であること
- ◆事業者の独立採算では公共交通の維持が難しくなっていること
- ◆公共交通を維持していくためには、行政・事業者・住民皆が「自分ごと」として捉え、連携して取り組んでいく必要があること

4.路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度の説明

【説明内容】

- ◆基本的な路線バスの乗り方について
- ◆65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度「ノーカーサポート優待証」の内容や発行方法などについて

5.グループワークの結果（1/2）

○A、Bの2グループに分かれ、意見を出し合った。（結果は10ページ以降に記載）

【主な内容】

◆集落内にバスを走らせてほしい

- ・集落から国道のバス停まで坂道があり、歩くのが大変
- ・車両を小型化し、集落内に乗り入れてほしい
- ・毎日外出するわけではないので、毎日運行でなくてもよい

◆ニーズに合ったバスを運行してほしい

- ・バスの使い勝手が悪く、不便なので乗らない
- ・1時間に1本程度は走らせてほしい
- ・通院と買物という2大目的を満たすルート（イオンやおどや、館山病院等）を検討してほしい
- ・病院の診察時間にダイヤを合わせてほしい
- ・市役所や公共施設にはバス停があるとよい

◆亀田病院へのアクセスを改善してほしい

◆館山駅での乗継を改善してほしい

- ・乗換時間は15分程度が（長すぎず、短すぎず）望ましい
- ・乗継の時間が長いと、館山駅で時間をつぶせない
- ・高速バスとの接続を改善してほしい

◆運賃補助などの支援を行ってほしい

- ・料金が高いので安くしてほしい
- ・市街地へのタクシー代は5千円くらいかかることもある
- ・割引制度を充実させてほしい

5.グループワークの結果（2/2）

○A、Bの2グループに分かれ、意見を出し合った。（結果は10ページ以降に記載）

【主な内容】

◆バスの待合環境整備

- ・雨風をしのげる屋根やベンチがほしい
- ・市や運行事業者で補助を出してほしい

◆地域でも地域のニーズを把握する

- ・地域自ら、地域の高齢者のニーズを把握することが必要

◆地域の需要に合った交通の導入を考える

- ・JRバスに頼ってばかりでは利便性を保てないので、地域単独で時間を定めて運行できないか
- ・隣接する神戸地区等も含め、足の確保を考える必要がある

◆将来への不安

- ・今は車を所持/周囲に車が使えの人がいるからよいが、将来的には大変な状況になる

集落内にバスを

集落からバス停まで坂道で行くのが大変

バス停を国道から集落内に移動できるとよい

路線バスは集落内を通れないのか

バスの小型化

バスの一部便を集落内に通してほしい その際、バスの小型化を行う

市のマイクロバスを利用し、集落内を通せないか

利用者が減っているので、中型か小型にした方がよい

大型バスを小型にできないのか

道が狭いので、バスは小さいほうがよい

フリー乗降について

フリー乗降を導入してほしい

バスのダイヤについて

バスの使い勝手が悪いので利用者が少なくなる

ダイヤがキリのよい時間になるなど分かりやすくなるとよい

今まで同様**1時間に1本**はバスを走らせてほしい

バスのルートについて

南総文化ホールがバス停から遠いので、経由するバスを設けてほしい

館山病院が移転したら、駅からおどやや館山病院、市役所、イオン等を巡る小型バスを運行してほしい

市役所へのアクセス

市役所までの交通手段がない

公共施設（市役所等）にはバス停がほしい

市役所の出張所が駅近くにあると助かる

市役所窓口を駅の近くに設置してほしい

地域発のバス運行

JRバスに頼ってばかりでは利便性が保てない

JRバスに頼れないものは新たなシステムを検討する

路線バスではなく、地域単独で時間を定め運行できないか

地域を起点に市役所やおどや、尾張屋、イオン等主な商店を回るバスを日を決めて出してほしい

NPOなどを設立し、住民が負担なく中心部に行けるようにする

地域でNPOを立ち上げてほしい

助け合い輸送において車両保険の補償がほしい

助け合いで乗せていく場合料金を出している 事故があったとき心配

地域の助け合いは、若い担い手を育てる必要がある

助け合い交通は保険対応が難しい

地域のニーズ把握

地域自ら、地域の高齢者のニーズを聞くことが大切

地区の状況など

富崎地区は昔銀行も銭湯も
あった

おどや大神宮店がある

布良からおどやは歩けない

国道から東側はあまり住宅
がない

中心市街地まで遠い

費用負担の軽減

中心市街地へのタクシー料
金も高い

館山駅までタクシーで5千円
くらい 夜間は更に割増

公共交通の運賃割引を充実
させてほしい

料金が高いので安くしてほ
しい

料金に地域差がある

バス待ち環境整備

安房自然村バス停上り線に
待合所がほしい

バス停待合所設置の補助金
を出してほしい（市・JR）

亀田病院へのアクセス

亀田に行く直通路線がない
館山又は白浜で乗換が必要

館山病院へのアクセス

病院・警察が移転したら路
線の変更をお願いしたい

病院へ行く都合上、停留所
は減らさないでほしい

館山病院が移転するのは不
便である

将来への不安等

不便な地方部のことを考え
てほしい

今は車を使える人がいるか
らいいがこれからが大変

集落内にバスを

集落から国道まで上がるのもつらい

集落内にバスを通してほしい

少しでも歩きたくない

幹線だけにこだわらない

毎日外出しないので毎日運行でなくてもよい

バスのルートについて

利用者宅のそばまで行ってくれるバスを

病院を経由するバスを設定してほしい

病院帰りにスーパーに寄って帰ってこられるようなバスを設けてほしい

市で**小回りの利くバス**を運行してほしい

コミュニティバスを走らせてほしい

ニーズに合うバスを

病院と買物が外出の2大目的

住民の足がわりにならないと意味がない

バスが不便だから乗らない

館山駅周辺では用事が済ませられない

イオンに行くのに乗換等があり一日がかり

診察の時間にバスのダイヤが合わない

館山病院の送迎バスの方が便利である

最終バスの延長

高速バスに合わせ、路線バスも遅い便を設定してほしい

最終バスが早い

バスの本数について

最低でも**1時間に1本**はほしい

乗継の改善

バスの乗換時間は15分くらいがちょうどいい

乗継のときなど、館山駅で時間がつぶせない

なのはな号との接続が悪い

亀田病院等へのアクセス

亀田に通院するのは大変

医療センターや亀田に乗換がないバスがあれば

観光客と生活輸送の両立

観光客と住民を分けて考えるべきである

観光客は荷物も多く、大型でないと対応できないこともある

観光客が増えるときだけ大型で運行できないか

観光客の荷物を収納できるトランクを作る

ノンステップバス導入

バスのステップが高い

近所での助け合い状況

向区では、おどやまで高齢者を送ることがある

近所の人のお車に乗せてもらうほうも気をつかう

その他

藤原から先は国道沿いにより人が住んでいない

バス待ち環境整備

バス停に屋根やベンチを設置してほしい

設置は区でやっている 資金があればよいが

今後の方向性

実施可能なプランを市から地元に提示してほしい

竜岡や神余等、他地区も含めて足の確保を考える

将来への不安

いつかは車が運転できなくなる不安がある